

令和4年 第8回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

令和4年8月17日 開会

令和4年8月17日 閉会

岩見沢市教育委員会

令和4年 第8回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

(令和4年8月17日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第12号 教育長の一般経過報告について
- 2 報告第13号 岩見沢市立学校職員の服務について
- 3 議案第36号 岩見沢市立図書館協議会委員の委嘱について
- 4 議案第37号 令和4年度教育委員会関係補正予算について
- 5 協 議 6 令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

そ の 他

○本委員会に出席した者

教 育 長	三 角 光 二
委 員	杉 野 幹 夫
委 員	菊 池 亜 希
委 員	南 部 博 明

教 育 部 長	所 美 穂 子
教 育 部 次 長	住 吉 功 成
学 校 教 育 課 長	戸 沼 貴 志
指 導 室 長	出 口 哲 也
学 校 給 食 課 長	田 公 寿 幸
生 涯 学 習 ・ 文 化 ・ ス ポ ー ツ 振 興 課 長	白 石 丈 人
教 育 施 設 課 長	大 内 規 裕
子 ど も 課 長	小 野 直 樹
図 書 館 長	中 川 和 彦
緑 陵 高 等 学 校 事 務 長	廣 田 康 裕
事 務 局 学 校 教 育 課 総 務 係 長	和 田 佳 晴
事 務 局 学 校 教 育 課 総 務 係	若 林 昌 吾

午前10時00分 開会

○三角教育長 それでは、ただ今から令和4年第8回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、南部委員さんをお願いいたします。

初めに、日程番号1、報告第12号 教育長の一般経過報告について 私から説明いたします。

7月9日から8月3日までの経過報告となります。

まず、7月13日、教育局で開催された管内教育長会議にZ o o mで出席し、今後の管内教育の推進について、説明を受けました。

16日、市P連研究大会に、教育委員さんとともに参加し、鈴木克治先生の講演にも出席しております。

25日、公立高等学校適正配置地域別検討協議会に出席し、新しく設置される高校について、札幌圏にはない岩見沢ならではの教育課程を編成した高校づくりを私から要望しております。

8月3日、空知校長会研究大会にZ o o mで参加し、管内教育長会を代表して、挨拶を行いました。

以上で、私からの経過報告を終わります。

委員の皆様からご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 ご意見、ご質問等がなければ、本報告については終了いたします。

続きまして、日程番号2、報告第13号 岩見沢市立学校職員の服務について 説明をお願いいたします。

○戸沼学校教育課長 報告第13号 岩見沢市立学校職員の服務についてですが、人事案件につき秘密会によるご報告とさせていただきたくお願い申し上げます。

○三角教育長 ただ今、事務局より報告第13号について、人事案件のため、秘密会という形で会議を進行する旨の申出がありましたので、そのように進めてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、報告第13号については、秘密会として取り扱うこととし、後ほど、説明していただきます。

続きまして、議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○所教育部長 議案第36号 岩見沢市立図書館協議会委員の委嘱について 令和4年8月31日をもって2年間の任期が満了となることから、次期委員の委嘱について、ご審議願うものであります。

議案第37号 令和4年度教育委員会関係補正予算について 令和4年度教育委員会関係補正予算について、意見を求めるものであります。以上です。

○三角教育長 それでは、日程番号3、議案第36号 岩見沢市立図書館協議会委員の委嘱について 審議をいたします。説明をお願いいたします。

○中川図書館長 議案第36号 岩見沢市立図書館協議会委員の委嘱について 説明をさせていただきます。

委員の選出についてですが、5月の定例会において協議をさせていただき、その中でご意見をいただいた選出方法に従いまして、岩見沢市立図書館協議会委員（案）に記載の10名を選出したところでございます。上から順に、今回新任委員と公募による委員の方々について、説明をさせていただきます。

初めに、NO. 3、吉田有希氏でございますが、幼児教育関係者といたしまして、岩見沢市法人立保育園連盟主任保育士会から推薦をいただいたところでございます。

次に、公募の委員でございますが、募集期間内に4名の応募がございました。選考につきましては、7月28日に、教育長、教育部長、教育部次長、図書館長から成る選考委員会を開催し、応募用紙に記載された文面を審査、採点した結果、NO. 9、古関亮子氏と、NO. 10、藤田淳子氏のお二人を選出いたしました。

なお、両名とも新任委員として、選出したところでございます。

ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

○三角教育長 ただ今、議案第36号についての説明がございました。

委員の皆様から、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

（「ありません」という声あり）

○三角教育長 この件について、ご異議がなければ、決定させていただいて、よろしいでしょうか。

（「はい」という声あり）

○三角教育長 それでは、議案第36号について、原案のとおり決定いたします。

続きまして、日程番号4、議案第37号 令和4年度教育委員会関係補正予算について 審議いたします。説明をお願いいたします。

○戸沼学校教育課長 それでは、各担当課長より今回の補正予算について、ご説明申し上げます。

最初に、学校教育課の補正予算について、事業名は、学習環境整備事業になりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行等を延期・変更したことによりまして、生じたキャンセル料や追加料金の公費負担をいたしまして、保護者の経済的負担軽減を図るための補正ということになりますが、財源につきましては、全て新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を充てて、対応いたします。

学校教育課は以上でございます。

○小野子ども課長 次に、子ども課の所管分となる子ども・子育て環境整備事業について、ご説明します。

この事業では、保育所や幼稚園などが感染症対策の徹底を図りながらコロナ禍であって

も、業務を継続的に実施することができるよう、保育士等の超過勤務手当や研修受講費、マスクや消毒液などの購入経費として、1,605万円を補正要望するものです。

これは国の補助制度を活用し、民営の保育所等には、市からの補助金として支給する形になります。昨年、9月にも同様の事業を実施しましたが、今年度も7月に国の補助制度が示されたことから、このタイミングでの補正要望とさせていただきます。

事業の対象となる施設は、市内の認可保育所、認定こども園、幼稚園などの計27施設、補助の上限額は、それぞれの施設の定員のほか、延長保育や一時保育などの実施の有無によって決まります。

その額ですが、多いところで105万円、少ないところで30万円となる見込みです。以上です。

○廣田緑陵高等学校事務長 緑陵高等学校分について、ご説明いたします。

特別会計、高等学校費、学校管理事業に係る補正予算でございます。国のGIGAスクール構想の実現に向けた取組により、高校においても、令和4年度より生徒の一人一台端末が開始になるなど、学校におけるICT環境の整備が進む中、時間、場所等に制約されない、子どもたちの発達段階に応じた質の高い教育を実行するため、オンライン教育の授業環境を高度化するとともに個別最適な学びの実現に向けて、その環境を最大限活用して、対面とオンラインのハイブリッド教育をさらに充実化していく必要があります。

また、一方でオンライン学習を本格化させている学校現場では、教室で教師が指導者用端末を活用して、授業を行いながら、もう1台の端末を使って、自宅にいる生徒にも授業映像を配信するなどといった新たなニーズも発生しており、生徒のみならず、教員用端末の整備も急務となっていることからこうした必要性やニーズに早急に対応するため、国では、令和3年度補正予算において、ICTを活用した授業環境の高度化に資する機器等を追加的に整備する場合の経費について、補助することとしたところです。

そこで、今回、本校の教員用タブレット端末につきまして、この補正予算による公立学校情報機器整備費補助金を活用し、整備を行おうとするものであります。今年2月に令和4年度分として、事業費補助金56万2,000円の内定を受けておりましたが、今回これを補正予算として、計上するものでございます。

金額の根拠ですが、交付要綱に定められた端末1台当たりの補助上限額が4万5,000円、また台数については、今回の補助対象が校長、教頭、養護教諭を除いた教員の数のうち、普通教室の数を超える分となっていることから、令和3年度における教員の数41から、普通教室の数16を減じた25台として内定を受けており、4万5,000円掛ける25台で112万5,000円。うち補助金については、補助率2分の1で、1,000円未満切捨てですので、56万2,000円。残る56万3,000円は、一般会計からの繰入金により予算措置することとなります。

あわせて、令和3年度における特別会計、高等学校費の歳入歳出差引額、44万398円について、歳入については繰越金として、予算措置するとともに、歳出については、予

備費に計上し、不足の支出に備えるものでございます。

説明は以上でございます。

○三角教育長 ただ今、議案第37号について説明がございました。

委員の皆様から、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○杉野委員 1点、教えてください。予算から離れてしまうかもしれませんが、緑陵高校のICT教育についてです。小中学校では、GIGAスクール構想がコロナの影響でスケジュール的に前倒しされて、子どもたち1人1人に1台、タブレットが当たるということで、整備が進んで活用もされて、かなり充実してきていると思います。

緑陵高校では、今の説明ですと、令和4年から始まるようなお話しをされていましたが、今後の整備等に向けての計画について教えていただきたいと思います。

1人1台端末という部分も含めて、現状、それから今後の予定、その予算の裏づけ等、分かれば教えていただきたいと思います。

○廣田緑陵高等学校事務長 高校の1人1台端末につきましては、令和4年度からの新学習指導要領でも載せられており、令和4年度から年次進行で導入開始となっております。

生徒の端末につきましては、BYOD方式といたしまして、家庭で準備した端末を持ち込んで使用するという形になっておりますので、学校のほうで端末を整備することはございません。

ただ、経済的に配慮の必要な生徒の分につきましては、昨年度、令和3年度補正予算におきまして、3年分で81台、学校用の貸出し端末というのを整備しております。来年度以降につきましても、基本としてはBYOD方式ですので、家庭で購入した端末を生徒さんが持ってきて、学習に利用するという形になっております。

○三角教育長 よろしいでしょうか。

○杉野委員 そうしたら、小中学校はすごく恵まれているということですね。

○三角教育長 そうですね。国のほうで手厚くされていますので。

○杉野委員 ただ、高校も、家庭ごとの経済格差はあると思いますし、その辺りの支援も考えていらっしゃるようですが、それでも何か格差が生じそうで、大丈夫かなという気がします。以上です。

○三角教育長 ほかがございますか。

○菊池委員 家庭で用意してもらう際に、機種指定はしているのでしょうか。

○廣田緑陵高等学校事務長 令和4年度の1年生については、機種指定はしてありませんが、学校からの推奨端末ということでchromebookを推奨しておりまして、学校でECサイトを準備し、そこから生徒さん、各家庭が購入できるような仕組みを作っております。

○菊池委員 なるほど。分かりました。ありがとうございます。

○三角教育長 ほかよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、ほかにこの件について、ご異議がなければ、このようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、議案第37号につきましては、原案のとおり決定いたします。

続きまして、日程番号5、協議6 令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 審議いたします。

説明をお願いいたします。

○出口指導室長 令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について、ご説明いたします。

資料にありますように、北海道教育委員会から令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について、照会が来ております。

これは同調査において、都道府県教育委員会は、市町村教育委員会の同意を得られた場合には、当該市町村名を明らかにした結果公表を行うことができるということから、北海道教育委員会は、今後公表予定の「北海道版結果報告書」に市町村の結果を公表するため、岩見沢市教育委員会に対して、結果公表について、同意を求めてきたところです。

道教委からの照会のかみ文書以降には関係書類を添付しておりますので、ご覧いただければなと思っております。

以上、結果公表の同意について、ご協議をお願いいたします。

○三角教育長 ただ今、協議6についての説明がございました。

委員の皆様から、ご意見、ご質問等がございましたらお願いいたします。

これまでもこの件については同意していますが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 ご異議がなければ、このようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、よろしくをお願いいたします。

続きまして、その他に移ります。委員の皆様から何かございませんか。

(「ありません」という声あり)

○三角教育長 特になければ、事務局から何かありませんか。

○出口指導室長 令和4年度全国学力・学習状況調査の速報について、お知らせいたします。

本市における調査結果の速報値を別紙のとおり、まとめました。

数値につきましては、記載のとおりとなっております。

文書表現上、小学校、中学校ともに、国語、算数・数学は全国平均同様、理科はほぼ同様という表現となります。

今後につきましては、教育研究所を中心として、分析を行うとともに、岩見沢市全国学

力学習状況調査結果活用検討委員会で報告書を検討し、その内容を公表していく予定となっています。

指導室としましては、各学校の学力向上に向けた授業改善が組織的に進むよう、教育研究所と連携し、戦略をもって、意図的・計画的に進めていきたいと考えているところです。

なお、この資料につきましては、本市調査結果の速報値として、8月5日金曜日に、市教委ホームページに掲載しておりますことを併せて報告させていただきます。

以上でございます。

○三角教育長 ただ今、説明ありましたが、質問等よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 それでは、特になければ、来月の定例会日程についてです。9月21日が第3水曜日となりますが、職員採用試験が開催予定であるため、翌22日に定例会を開催したいと考えていますが、委員の皆さん、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 午前10時からということによろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○三角教育長 場所については、であえーる岩見沢4階のここ会議室1で行います。それでは、よろしく願いいたします。

ここで一旦休憩を取らせていただきます。

(以下、秘密会)

午前10時20分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員